



Appleと教育

管理対象Apple IDの概要

教育機関にAppleの製品を導入する際には、管理対象Apple IDと生徒、教職員のみなさんが必要とするサービスの対応について理解しておくことが重要です。管理対象Apple IDは、生徒と教職員のみなさんがiPadやMacを各自のニーズに合わせて使えるように設定し、Appleから提供される主要なサービスを使うために作られた、教育機関専用のアカウントです。

さまざまな国や地域で、生徒のデータや情報を保護し、どのように利用されるかを管理、制限することが学校や教育機関に求められており、法制化されています。管理対象Apple IDは、初等、中等教育機関が生徒のプライバシー保護に関する要件に準拠するために設計されています。生徒の年齢を問わず使うことができ、教育機関がアカウントを一括作成し管理するのが簡単になります。

管理対象Apple IDについて

管理対象Apple IDは、学校が作成し所有する特別なアカウントです。Appleの各種サービスを利用すると同時に、購入や通信の機能制限や役割ごとの管理など、プライバシーとセキュリティに関する学校のニーズに応えます。

Apple IDは導入の技術的な必須事項ではありません。Apple製品の管理、アプリケーションの配布、iPadのためのクラスルームアプリケーションの導入はApple IDを設定しなくても実現可能です。学校でどのAppleのサービスを使う予定があるのかを確認し、管理対象Apple IDへの最適な移行方法を検討してください。個人用Apple IDを管理対象Apple IDに変換することはできません。

管理対象Apple IDと個人用Apple IDにはいくつか主だった違いがあります。校内で個人用Apple IDの使用を許可する場合は、学校環境向けに特化されている管理対象Apple IDとは利用規約が異なることを理解しておく必要があります。個人用Apple IDの使用には、一般消費者向けのサービス規約(プライバシーポリシーを含む)が適用されます。データの収集と使用について規定するこれらのポリシーを教育機関として確認してください。

教師と生徒のみなさんのための機能

管理対象Apple IDは、教育現場で使用される代表的なiCloudサービスや、学校のために特化された機能を使うために作られています。

- **iCloudストレージのアップグレード。** 管理対象Apple IDでは、200GBのiCloudストレージを無料で使用できます。
- **iCloudサービスの利用。** iCloudサービスには、共有iPad、iCloud Drive、写真、Safari、メモ、カレンダー、リマインダー、バックアップが含まれます。
- **スクールワーク。** Apple School Managerで作成したクラスの名簿が自動的にスクールワークで利用できるようになります。Apple School Managerに生徒の学習状況のレポートを有効にするオプションがあります。
- **教育機関側でのパスワードのリセット。** IT管理者を介さずに教師のみなさんが生徒の管理対象Apple IDパスワードをリセットすることができます。
- **iWorkの共同制作。** 同じ教育機関内の教師と生徒のみなさんが、iWorkとメモを使って共同作業をすることができます。
- **本。一括購入したものを含め、本を管理対象Apple IDに割り当てる**ことができます。
- **管理対象iTunes Uコース。** 教師のみなさんが管理対象Apple IDで作成したiTunes Uコースに、Apple School Managerで管理されている名簿を読み込ませることができます。教師から招待しなくても生徒がコースに参加することができます。

教育機関向けのカスタマイズ

管理対象Apple IDは教育目的での利活用に最適化されており、生徒と教師の個人情報を保護するために、特定の機能を無効にしています。

- **コンテンツの購入。**管理対象Apple IDでは購入が無効になっています。そのためApp Store、Apple Books、iTunes、Apple Musicのコンテンツ購入機能はサポートされていません。ただし、学校側の設定で許可すれば、教師のみなさんは教育機関のApple School Managerでアプリケーションや本を購入することができます。
- **iCloudメール。**管理対象Apple IDではiCloudメールを利用できません。
- **iPhoneを探す。**管理対象Apple IDではこの機能がオフになっています。組織が所有しているiPadやMacは、MDM紛失モードで探したりサウンドを鳴らすことができます。
- **Apple PayとWallet。**管理対象Apple IDではApple PayやWalletなどのサービスを利用することはできません。
- **FaceTimeとメッセージ。**FaceTimeとメッセージは、デフォルトでは無効になっています。学校はApple School Managerからこれらの機能を有効にすることができます。
- **Apple Teacherプログラム。**管理対象Apple IDではApple Teacherプログラムのポータルにアクセスできません。

管理者のための機能

すべての生徒や教職員のアカウントを学校で作成し管理しやすくするために、管理対象Apple IDにはApple School Managerを通して管理できる特定の機能があります。

- **アカウントの一括作成。**Apple School Managerを使えば、生徒と教職員のための学校所有アカウントを簡単に作成できます。管理者はCSVを定期的にアップロードすることで、名簿データを同期することができます。
- **新規の役割と権限。**管理者は、教職員のための新規の役割と権限を作成できます。たとえば、教師がApple School Managerでアプリケーションやブックを購入できるようにしたり、管理者を追加することができます。
- **プライバシーとセキュリティの機能。**プライバシーとセキュリティの機能によって、Appleのサービス内ではデータが常に強制的に暗号化され、ターゲティング広告がブロックされます。
- **管理機能。**管理対象Apple IDでは、アカウントのiCloudデータ監査やパスワードのリセットを行うことができます。

管理対象Apple IDを利用するには、school.apple.comにログインしてください。

リソース

サポート記事

- 教育機関向けの管理対象Apple IDについて
- Apple School Managerにアップグレードする
- SFTPを使って生徒、職員、クラスのデータをApple School Managerにアップロードする
- Student Information SystemをApple School Managerに接続する

プライバシーに関するリソース

- 教育の現場におけるApple製品のプライバシーとセキュリティについて
- 教育機関向けデータとプライバシーに関する概要
- 保護者のみなさんのためのプライバシーに関する概要
- Appleのプライバシー対策